
福の神の災難

古尾 光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

福の神の災難

【Nコード】

N2802I

【作者名】

古尾 光

【あらすじ】

ある青年が、不思議な仏像を川で拾う。その仏像がいきなり喋りだし、自分は福の神だと言う。

とある青年が川辺を散歩していると、不思議な木の像を見つけた。川に流され、長い時間水に晒されたのだろうその像は、薄汚れみすばらしい姿だった。

青年も普段ならば見てみぬ振りをするところだが、その像には不思議な魅力があった。青年はその像を持ち帰り、きれいな水と布で丁寧に磨いていった。

するとどうだろう、薄汚れた姿からは想像できない、神々しい仏像が現れた。

（このような立派な仏像が、なぜあんな場所に打ち捨てられていたのだろう？）

特に熱心な信仰心を持たない青年だが、神仏を粗末にする見知らぬ誰かには嫌悪感を覚えた。

「お前が私を拾ったのか？」

いきなり知らない声が響く。青年は一人暮らした、いきなり見知らぬ声がすることはない。

「この声は、あなたさまですか？」

馬鹿らしいと思いつつも、仏像に話しかけてみる。

「そのとうりだ、私は福の神。お前には打ち捨てられていた私を拾い上げ、綺麗にしてもらった恩がある。私が力を貸してやろう」

まさか本当に声が返ってくると思っていなかった青年は、心底驚いた。

話を聞くと、この像は福の神らしい。しかも、力を貸してくれたと言っている。青年は真面目で誠実だが、あまり運は良くなかった。そんな青年からしたら、ありがたいことだった。

早速青年は仏像を置く場所を作り、それから毎日仏像に手を合わせることを日課にした。

しかし、福の神が来てからもあまり幸運になることはなかった。そ

れどころか、石につまづき転んだり、胃にポリープが見つかったり、あまり運がいいとは言えないことが続いた。

さすがに青年もこの像を疑い始めた。実はこの像は不運の神なのではないか。とうとう堪え切れなくなった青年は福の神に尋ねてみた。「神様、神様。あなたは福の神と言うが私は不運ばかり続いている、どうしてでしょうか」

「ふむ、いったいなにが不運なのだ」

尋ねられた青年は、ここしばらく起こった不運を話した。それを聞いていた福の神は、笑いながら答えた。

「それはすべて、幸運ではないか」

その答えに驚いた青年は、非難するように答えた。

「私には幸運には思えません。いったいどこが幸運なんですか？」

「石で転ばなければ、急いでいたお前はその先で、車に跳ねられている。また、胃の病気は手遅れになる前に分かったのだこれを幸運と呼ばずなんという」

福の神の言うことももったが釈然としない青年はなおも答えた。

「たしかに幸運だったみたいです。しかし、私はお金持ちや、有名な人になるような幸運が欲しいのです」

「確かに、それは分かっているが私にも事情があるのだ」

「事情ですか？」

「昔、お前が言うように一人の男を金持ちにした。その男は私に感謝し、金でできた壇も用意してくれた。しかし、あまりに立派だったおかげで評判になり、その性で私は泥棒に盗まれてしまった。その後、私を取り返そうとする者と揉み合いの末、私は川に流されてしまった」

「それは悲しい出来事ですな」

「そのとき私は悟ったのだ、幸運だったと気が付くのは不幸な時だ。と。ならば幸運だと気が付かない程度に、力を分け与えればいいと」

「私の考えが浅はかだったみたいです。あなたが私の言うような幸

運を分け与えていれば、また同じことを繰り返したかもしれません」
福の神の真意を知った青年は、今まで以上に福の神を大事にした。
その後青年は、その像を近くの小さなお寺に奉納したという。
そして今も、その像は気が付かぬ幸運を分け与えているそうだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2802i/>

福の神の災難

2010年12月12日02時41分発行